

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

◎ 活動支援情報（花と緑のネットワーク）

< 編集後記 >



【わが村運動情報】

◎ 「わが村は美しくー北海道」運動 第12回コンクール募集開始！

第12回コンクール参加チームの募集を開始しました。

「わが村は美しくー北海道」運動では、北海道の農山漁村の魅力と活力を高めるため、地域で頑張る皆様の活動を広く発信、支援しています。

地域の資源を活かし、地域を元気にしようと団体同士が連携して活動している皆様のご応募をお待ちしています。

【募集期間】 令和8年1月28日(水)

～令和8年5月29日(金)

【H P】コンクールの概要や応募方法など、詳しくはこちら↓からご確認ください。

「わが村は美しくー北海道」運動 第12回コンクール

応募チーム募集!!

応募締切 令和8年5月29日(金)

第11回コンクール 大賞 美山ファーム

第11回コンクール 大賞 美国・美しい海づくり協議会 / 奈別・海HUGくみだい

【募集期間】 令和8年1月28日(水) ~ 令和8年5月29日(金)

【H P】コンクールの概要や応募方法など、詳しくはこちら↓からご確認ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/splaat00001mdfu.html

◎ 東京池袋「ぐるめぐり 冬の大北海道展」で「わが村」運動をPR！

東武百貨店池袋店で毎年1月に開催している「ぐるめぐり 冬の大北海道展」において、1月23日と24日の両日、当会場に「わが村」ブースを設け、PR活動を実施しました。大盛況の北海道展の中で、農泊や体験型観光などを中心に、道内各地で活躍する「わが村」団体をパンフレットや映像などにより紹介し、首都圏の方々にも関心を持っていただきました。

会場へお越しの皆様、ご協力くださった関係者の皆様、ありがとうございました。



◎ 広報誌「開発こうほう」2月号の掲載情報

(一財)北海道開発協会が毎月発行している広報誌「開発こうほう」には、「わが村は美しくー北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。2月号では第10回コンクールで優秀賞を受賞した「北宗谷農業協同組合稚内支所 稚内牛乳(旧 稚内農業協同組合 稚内牛乳)」(稚内市)について紹介されています。

広報誌「開発こうほう」は(一財)北海道開発協会のHPよりご覧いただけますので、「わが

村は美しく－北海道 未来へつなぐ」のページをぜひご一読ください↓

<https://www.hkk.or.jp/kouhou/>

「北宗谷農業協同組合稚内支所 稚内牛乳」については、わが村HPでもご紹介しております↓

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/slo5pa000000g408-att/slo5pa000000g448.pdf

【わが村コラム(No.63)】

今回ご紹介するのは、当別町で活動する「**当別町亜麻生産組合**」（第6回コンクール奨励賞受賞団体）が栽培する**亜麻を使った加工商品**の数々です。

北海道がかつて亜麻の一大産地だったことはご存知でしょうか？

北海道での亜麻栽培は、明治初期に繊維用として導入したのが始まりで、その後道内で盛んに栽培されましたが、昭和になると化学繊維の台頭により栽培が衰退し、昭和40年代には亜麻は姿を消してしまいました。



【亜麻の花】

現在の当別町周辺は当時、主要な産地であっ

たこともあり、それから約40年の時を経て、再び亜麻を北海道の資源として見直し、北海道ならではの産業に育て、地域の活性化につなげようと取り組んでいるのが、亜麻を栽培する「当別町亜麻生産組合」と亜麻を使った商品の開発や販売を行う「(有)亜麻公社」です。今回、(有)亜麻公社の松葉さんに亜麻栽培の復活の経緯や製造工程のこだわりなどについてお話を伺いました。

亜麻は、以前は茎から得られる繊維を加工するのが主な利用方法でしたが、新たな産業や可能性を探る中で、種子から抽出される『亜麻仁油（あまにゆ）』が健康に良いと海外で評判を呼んでいることに着目し、新たな商品開発の可能性を見出したことが亜麻栽培を復活させるきっかけとなったそうです。亜麻の栽培を復活させた当時は、国内で亜麻仁油という単語もまだ馴染みが

なく、亜麻の栽培や亜麻仁油の流通も少なかったことから、「安心・安全な亜麻仁油を健康に役立ててほしい」、「世界一新鮮でおいしい亜麻仁油を作りたい」との想いで、亜麻仁油の製造にも着手しました。

“安心・安全”で“世界一新鮮でおいしい”亜麻仁油をお届けするために、亜麻生産組合の亜麻



畑では、農薬に頼らない栽培方法を試行錯誤しながら確立するなど、原料となる亜麻の品質を最優先する姿勢は今も変わらず、生産者一人ひとりが亜麻の栽培環境と生育状況に向き合いながら、丁寧に育てています。

収穫後の亜麻種子は、高品質な亜麻仁油を生産するため

【亜麻仁油（プレミアムタイプ）】

に厳格な選別工程を経て、一定の基準を満たしたもののみ

を使用し、低温圧搾製法で熱による成分変性を抑えながら、亜麻仁油を丁寧に抽出しています。

良質な原料のみを使用しているため、時間をかけてろ過するだけで、亜麻仁油本来の香ばしさや風味、そして深いコクを引き出すことが可能となっています。

亜麻仁油に豊富に含まれるオメガ3脂肪酸は、生活習慣病の予防や免疫機能の維持、ホルモンバランスの調整など、健康維持に重要な役割を果たす栄養素であり、体内で合成することができ

ない必須脂肪酸として脂肪酸の中では唯一、健康機能が確認されています。このため、亜麻仁油は栄養機能食品として表示が認められています。



【亜麻仁油ドレッシング】



【焙煎した亜麻の実】



【亜麻仁油のサプリメント】



【亜麻仁油を配合した石けん】



【亜麻種子（粉末）を配合した石けん】

近年、健康意識の高まりとともに注目を集める亜麻仁油ですが、オメガ3脂肪酸を豊富に含む一方で、酸化しやすいといった特性を持っています。そのため、亜麻仁油をはじめとする全ての商品における製造工程では、酸化要因への影響を極力抑え、品質と鮮度を維持するための管理体制が構築されています。

また、亜麻仁油を摂取する時には加熱の必要がなく、栄養成分や風味を損なうことなく容易に料理などに取り入れられることから、日常使い用から贈答用のプレミアムタイプまで幅広く展開されています。

さらに、調味料としても活用できる『亜麻仁油入りドレッシング』のほか、オメガ3脂肪酸はもちろんのこと、食物繊維やポリフェノールの一種であるリグナンを含む『焙煎亜麻の実』、摂取するまで酸化を防ぐために採用された『ソフトカプセル型サプリメント』や『亜麻仁油を配合した石けん』、『亜麻種子を粉末状したものをスクラブとして配合した石けん』など身体の内側と外側の両面から健康維持や美容に貢献できる商品が揃っています。

当別町に初夏が訪れる7月上旬の早朝、栽培が復活した亜麻の畑では、薄紫色に色づく花が一面を埋め尽くす圧巻の風景が現れます。でも、この風景が見られるのは午前中のみ。亜麻の花は、日の出とともに咲き始め、お昼頃には散ってしまう儂い存在です。そんな亜麻の花が色づく時期に、日本で唯一の亜麻をテーマにした『亜麻



【満開の亜麻畑】

まつり』が開催されます。『亜麻まつり』では、亜麻畑の見学会や展示のほか、亜麻繊維（リネン）の採取&糸紡ぎ体験、亜麻を使った商品の販売や亜麻を使ったメニューが楽しめる飲食ブースなど、亜麻に関わる色々な催しが行われる中で様々な亜麻を楽しめる一大イベントとなっており、私も昨年の『亜麻まつり』へ行った際は、薄紫色の花が一面に咲く亜麻畑を目の当たりにして感銘を受けました。皆さまも一度、わずかな期間しか見ることができない亜麻の花で彩られた素敵な風景や『亜麻まつり』に足を運んでみませんか！

また、亜麻の歴史や亜麻を使った各種製品のほか、亜麻料理のレシピも紹介などが、「(有)亜麻公社」のHPに掲載されていますので、こちらもぜひご覧ください。

【お問合せ】TEL：0133-25-3730（(有)亜麻公社）

【住所】北海道石狩郡当別町獅内2113-8

【HP】<https://amakousya.co.jp/>（(有)亜麻公社）

【わが村団体活動情報】

◎『氷灯夜2026』を開催します！（芽室町）

<わが村団体名：芽室町観光物産協会>

芽室町の冬の風物詩『氷灯夜（ひょうとうや）』、寒さが生み出す美しい氷の世界を灯りとともに体験できます。

日中はお子様から大人まで楽しめる体験型イベントを企画し、夜は柔らかな「アイスキャンドル」と「雪のオブジェ」が幻想的な光景を演出します。

芽室町の冬を満喫できる特別な一日。美しい氷で作られた世界を大切な人と一緒にお楽しみください！

【開催日時】令和8年2月7日（土）

13:30～20:30

【開催場所】芽室公園

（芽室町本通り8丁目）

【お問合せ】TEL：0155-66-6522（芽室町観光物産協会（めむろまちの駅内））



【H P】 <https://memurokankou-hyoutouya-hy.jimdofree.com/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/koropokkuru>

※会場周辺に駐車場がありません。（会場へは無料シャトルバスが運行されます。）

イベントやシャトルバス運行の詳細については、HPに掲載されますのでご確認ください。



◎『しばれフェスティバル』を開催します！（陸別町）

<わが村団体名：しばれフェスティバル実行委員会>

“日本一寒い町”陸別町で開催する『しばれフェスティバル』は、氷点下の世界を舞台にした冬のイベントです。第42回となる今回は、陸別ならではの企画が盛りだくさん！

1日目（土曜日）は、幻想的な氷のオブジェやかまくらが見られるほか、温かいグルメや地元特産品を堪能できる「しばれ縁日」、冬の夜空を彩る「しばれ花火」、充実したステージイベント「ご当地アイドルライブ」「よしもとお笑いライブ」、「雪の滑り台」や「ジャンボパチンコ」のアクティビティなどで楽しめます。

2日目（日曜日）は、引き続き「しばれ縁日」やステージイベント、アクティビティのほか、ゲーム大会やこども抽選会などがあ



り、お子さまも陸別の冬を満喫できます！

陸別の寒さを楽しめる二日間、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。



【開催日時】 令和8年2月7日（土） 18:00～21:00

2月8日（日） 9:30～14:00

【開催場所】 陸別町ウエンベツイベント広場（陸別町宇遠別）

【お問合せ】 TEL：0156-27-2141（内線135）（陸別町役場産業振興課）

【HP】 <https://www.rikubetsu.jp/kanko/event/shibare/>（陸別町観光協会）

【Facebook】 <https://www.facebook.com/shibarefes>（しばれフェスティバル）

※イベントの詳細については、HPなどでご確認ください。

◎「江差産ゆがのそば 手打ちそば教室」を開催します！（江差町）

<わが村団体名：えさし水土里の会>

江差では、一番寒さの厳しい2月に『たば風』が吹きつけます。『たば風』とは、江差で1月から2月に北西から吹く強い季節風のことです。この『たば風』に負けないように、江差では“江差たば風の祭典”として様々なイベントを開催しています。

その中で「えさし水土里の会」では、豊かな風味が自慢の地元産そば粉を使った手打ちそばに取り組んでいる「そば辰ゆがの会」と一緒に手打ちそば教室を開催します。

みなさま、寒さに負けず、冬の江差で美味しいものを食べて、遊んで、楽しんで、そして、そば打ち体験もしてみませんか？

定員20名になり次第締め切りとなりますので、お早めにお申し込みください。

【開催日時】2月14日(土) 午前10時～

(2時間半程度)

【開催会場】旧朝日小学校校舎

(江差町朝日町96番地)

【お申込み・お問合せ】(有)人形社

TEL: 0139-52-0818

※当日の持ち物等の詳細についてはお問合せにてご確認ください。

【HP】(江差町観光情報ポータルサイト)

<https://esashi.town/matsuri/page.php?id=399>

※参加料等はHPにてご確認ください。

◎『冬休み企画 子ども料理教室』を開催しました！(七飯町)

<わが村団体名：ななえの食を考える会>

『ななえの食を考える会』では、地域食材を活かした料理教室、食に関する講演会、果物収穫体験などの「食」に関する活動を行っており、1月7日(木)には函館ナントカ食堂の岡本シェフを講師に招き、幼児から高校生までの子どもたち11名の参加による料理教室を開催しました。今回、シェフに教えていただいたのは『王様しいたけ&あかり農場豚肉のハヤシライス』です。

シェフより「まずはタマネギのお尻と頭を落として半分に切ると皮がむきやすいです」と小さな子にも分かりやすい説明の後、3～4人の班に分かれた子どもたちは、シェフ直々のレクチャーを受けながら調理を進めていきます。タマネギは5mm～1cmくらいの厚さになるように小さ

い子も頑張って切っていました。「タマネギしみなかった」の声が微笑ましいです。しいたけは



好みの厚さでスライスしていきます。

フライパンを温め、バターを入れて豚肉を炒めて8割くらい火が通ったら鍋に移し、また同じフライパンにバターを入れて切ったタマネギとしいたけを炒め、タマネギが透き通ったら豚肉の入った鍋に移して調味料を入れて煮込み、タマネギが柔らかくなったら完成です。

鍋はフツフツとした火加減で煮込むのが、焦げづらく火も通りやすいそうです。良いにおいが部屋中に広がり、タマネギが煮えたかを確認しながら煮込

むうちに子どもたちの期待も高まります。

そして、ハヤシライスができあがり、当会の田中会長から「使った食材について」のお話があった後、いよいよ実食です。

地元の食材を使って、自分たちで作ったハヤシライスの味は格別なようで、小さな子どもも何度もおかわりして食べていました。「おかわりの時に他の班のハヤシライスと味比べしてみるね！」とそれぞれの鍋からハヤシライスをよそって楽しむ姿も見られました。



『ななえの食を考える会』では、食に関する様々なイベントを行っていますので、興味のある方はお問合せください。イベント情報や開催レポートはFacebookでも紹介していますので、是非こちらもお覧ください。

【Facebook】 <https://www.facebook.com/profile.php?id=100057733476518>

【お問合せ】 TEL:090-9754-3612（ななえの食を考える会 田中）

【活動支援メニュー】

○令和8年度（前期）「わが村運動活動助成」の実施

（NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク）

NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワークでは、北海道開発局と連携し「わが村は美しく－北海道」運動を推進しており、その参加団体の活動支援を行っています。

その活動支援の一つとして助成事業を実施しており、令和8年度（前期）の助成募集を開始しました。

助成事業の詳細については、当NPO法人のHPによりご確認ください。

「わが村は美しく－北海道」運動は地域で頑張る皆様に応援しています。

【助成募集期間（R8前期）】 令和8年1月～ 令和8年6月30日まで

【助成額】 1団体当たり1件、10万円を限度として、選考により予算の範囲内で助成

【HP】 <http://wagamura-net.jp/>

○令和8年度 地域活性化活動助成の募集（予定）（一般財団法人 北海道開発協会）

一般財団法人 北海道開発協会では、「地方版総合戦略」と新たな北海道総合開発計画の推進に寄与する地域づくりを支援するため、北海道内の地域の活性化に資する民間主体の活動や取組に対して助成を行っており、例年2月～4月を助成募集期間としています。

令和8年度の「地域活性化活動助成」の詳細については、募集開始時に当協会HPに掲載されますので、HPよりご確認ください。

【助成募集（申請）期間】 例年2月～4月中旬頃を予定

【H P】 <https://www.hkk.or.jp/kenkyusho/chiiki.html>

○農山漁村の案内に役立つ「便利帳」（北海道農政部）

北海道農政部では、農山漁村において旅行者を受け入れる地域の活性化に資する取組を積極的に推進するため、案内等に当たっての留意点や参考となる情報を紹介する「便利帳」を作成しています。詳細は、北海道農政部HPをご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/benricyou.html>

○地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

北海道経済部にて毎月発行している「地域を応援するマンスリーレター」では地域の皆さんが活用できる支援メニューなどタイムリーな情報をお届けしています。詳細は、北海道経済部HPをご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/a0004/b0002/>

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

どさんこプラザ・テスト販売制度は、販路拡大・商品開発などに取り組む道内企業の方々に応援するための制度で、新商品を3ヶ月間「どさんこプラザ」で販売し、その過程で得られた情報をマーケティング活動に役立てていただくことを目的としています。

売上が好調な商品はさらに3か月継続して販売し、販売期間終了後には、店から商品の評判や評価などのアドバイスが受けられるほか、定番商品化へ移行のチャンスもあります。

【募集期間】（R8年度開催予定分 テスト販売期間：第1四半期（R8. 4月～6月））

令和8年1月4日 ～ 令和8年2月10日

【お問合せ】 北海道経済部食関連産業局食産業振興課 マーケティング係

TEL 011-204-5766

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/103176.html>

○活動支援情報（花と緑のネットワークHP）

環境保全や地域づくり活動に活用できる助成・支援制度などの情報が掲載されていますので、ご参考まで↓

【H P】 https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/support/support_system/

< 編集後記 >

暦の上では立春を迎えましたが、まだまだ寒い日が続きますね。

1月後半には、あまり聞き慣れない「最強・最長寒波」が日本列島を覆い、雪や寒さには慣れている道民とはいえ、今回のように長く居座る寒気は生活などへの影響も大きく、何かと支障をきたす場面も多かったのではないのでしょうか。

さて、「わが村」運動の第12回コンクールが始まります。

注目するのは、道内各地で地域資源を活かしたイベントや、若い世代が中心となって地域の魅力を発信する活動などです。こうした活動が私たちの暮らしに温もりを与え、地域の未来を明るくしてくれると感じます。

地域のつながりを大切にする動きに、ぜひ皆様も一緒にエールを送りましょう！

発行：北海道開発局農業水産部農業振興課

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎13階

↓わが村HPはこちらからご覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html

↓Facebookでも情報配信しています。

<https://www.facebook.com/wagamura>

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！

本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。

配信希望・ご意見・ご感想はこちら hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp

(配信希望の方は、所属先(所在地)、氏名、メールアドレスを明記の上、こちらへ↑ご送付ください)

※一部ホームページではInternet Explorerに対応していないものがありますので、

Microsoft Edge等を使用して接続してください。
